

水などの用意，診療室の防災対策として診療設備の転倒防止のための固定方法，薬品防災，頭部の保護用品の常備，グラッと来た時には次の順序で対応をなどなどイラスト入りの分かりやすいガイドブックによる研修は，受けるまでは自分のところは安全と思いがちな我々にとってまことに時を得た得難い教訓であり，医院スタッフと共に，我々の家族も一緒に受講させるべきであったのではと悔やまれる。

その他，道内各歯会の災害対策体制，災害発生時の時系列的対応，歯科救護活動の流れの概要，トリアージ（選別，配分）の実施作業に対する歯科医師の協力の必要性，トリアージ，タックの記載要領など，短時間の研修会では時間的に無理と思われる，との富野先生の言葉のとおり，配布された災害時活動の指針およびしおりを熟読，玩味して万一の場合に備えなければならないことを再認識した。ご多忙なのに，多くのスライドを交えて大変に分かりやすく，長時間にわたりご講演をしていただいた富野先生に対して，感謝申し上げます。



遅れてきた，秋の知らせ

国内最大のマガンの居留地美唄宮島沼に，今秋も9月26日(土)に120羽余りのマガンが飛来した。初雁（はつかり）日は昨年より5日遅れ，ここ10年間で最も遅い日付となった（今月中旬の暖気と台風の影響と思われる）。夏場の繁殖地カムチャッカ半島を早朝に飛び立ったマガンが，5ヵ月振りに午前11時すぎに2つの大群を組んで沼に到着した。午後には早くも周辺の水田で，取り入れ後の落穂をついばむ姿が見られた。毎年10月中旬には約4万羽の大群が沼の水面を埋め，11月上旬まで滞在する。その後越冬地の宮城県伊豆沼に向けて飛び立ちます。小春日和の折にでも，今のうちにどうぞ。

（雨田 実記）

備えあれば

本年度道歯会主催防災・災害対策研修会を9月17日(土)，富野常務理事を講師に出向していただき，ホテルスエヒロ会議室において開催した。防災・災害対策のしおり，医療救護活動の指針を基にした研修会は，美唄歯科医師会単独として初めての開催と思う。

大地震や大災害の場合，初めてのため頭がパニック状態になってしまい，当初は正常な対応はなかなか出来得ないのが通常であるため，日頃から自宅の防災対策，非常用品，食料，飲料